

【第16回委員会(令和5年度)の審議内容】

第16回委員会にて審議頂いた内容は下記の通り。

1. 事業目的3つのうち、洪水調節機能と環境保全対策については、これまでのところ効果が発揮できていると認められる。
今後、操作規則を変更するにあたっては、下流への影響を十分に考慮した上で、住民への周知を行うこと。
2. 広報については、引き続き幅広い世代にわかりやすい説明に努めると共に、地元へのさらなるアピールを含めて積極的に取り組むこと。
3. 長期的堆砂対策については、
 - (1) 近年の堆砂実績を踏まえ、見直した流入土砂量をもとに、土砂運搬施設の配置等を見直した結果、一部区間の土砂運搬方法をベルコンからダンプ運搬に変更し施設規模を縮小できる可能性がある。
 - (2) 今後は、ベルコン・ダンプ運搬併用案について、調査・設計を進めるとともに、物価変動や働き方改革の影響、調査進捗に伴う変動などを考慮した事業費及び工期の精査を進めること。
 - (3) 事業費及び工期の精査については、コスト縮減、工期短縮はもとより、配置計画が及ぼす地域への影響、計画流入土砂量の上振れの影響等について総合的に評価し、長期的堆砂対策の方向性について、令和6年度の事業費等監理委員会で提示すること。